

本定例会中に各常任委員会を開催し、決算認定や補正予算等の付託案件の審査を行いました。審査概要は次のとおりです。

総務文教常任委員会

質問 糸魚川地区公民館の改築の進捗よく状況は。生涯学習センター機能を求められている中で、十分な機能を備えたものとするべきではないか。

答弁 今年3月に改築検討委員会から要望書を受け取り、現在、設計委託中である。年間2万5千人もの利用がある施設であり、十分に検討をしたい。



改築が予定されている糸魚川地区公民館

質問 風力発電事業について、修繕工事の補正予算が計上されているが、採算は取れているのか。

答弁 電力の固定価格買取制度の開始により、買取価格22円キロワット時となり、採算は取れる見込みである。風力発電施設の耐用年数は17年で、市内2施設の耐用年数はあと7、8年であるが、その経過後も稼働が可能なら続けたい。



能生海洋公園内の風力発電施設

質問 国の赤字国債発想法案の成立が遅れているが、地方交付税等には影響がなかったか。

答弁 地方交付税の交付等については、9月の時点では、当市には影響は出ていない。

建設産業常任委員会

質問 南蛮エビのブランド化の推進の状況は。

答弁 県が主体となって協議会を設置したり、糸魚川青年会議所からも積極的にPRしていただいた。上越漁協では「ひすい娘」というブランドで直販しており、インターネット等での申込み件数も年々増加していると聞いている。



糸魚川青年会議所の皆さんが扮する南蛮エビのPRキャラクター「エビちゃん」(右)と「ムキ身ちゃん」(中)

質問 消雪パイプや流雪構の整備、除雪作業オペレータの確保など、大雪に強いまちづくりという面でどのように考えているか。

答弁 消雪パイプについては、古くなった施設の入れ替えに追われており、新規の敷設は厳しい状況である。流雪構は、一度整備すると沿線住民の皆さんから対応していた、ただけることもあり、非常に有効な施設と考えている。水利条件が整えば、道路改良などの際に考えていきたい。また、除雪業者とは早めに打ち合せを行うなどして、この冬に備えたい。



質問 住まいる環境リフォーム補助金は、この3年間で5回実施することとなるが、景気対策としての効果に疑問を感じている。この事業はどういう人たちを対象とした景気対策なのか。

答弁 初回は市内の大手企業が2割を占めていたが、第2回、第3回は、大手は1割に満たない状況となっており、より広い業種に行き渡っているという認識で、全体的には市内全体の景気の底上げに寄与しているものと考えている。